



Twitter



YouTube

明石のコミュニティ・スクール

未来にむけて 学びをかえる

未来を創り 社会を支える 新たな学びと育ちのシステムづくり

# KomiKomiSukuSuku

明石市教育委員会事務局学校教育課 mail: gakkyo@city.akashi.lg.jp

For The Future

No. 179

2022

10.17

## 宅地造成が進む

### “朝霧中学校・松が丘南小学校（松が丘南幼稚園）・あかねが丘学園”跡地



現在、宅地造成中のこの場所で、昭和45年（1970年）に朝霧中学校が開校しました。

その後、松が丘小学校の児童数の増加にともない、昭和50年（1975年）に現在の朝霧中学校の場所に松が丘南小学校が開校しました。その2年後の昭和52年（1977年）、朝霧中学校と校地と校舎の交換により、この場所に松が丘南小学校が移転してきました。

そして、その年に松が丘南幼稚園もこの場所で開園しました。その後、児童数の減少

にともない、松が丘南小学校・幼稚園は松が丘小学校・幼稚園、朝霧小学校・朝霧幼稚園に統合される形で平成10年度（1998年）に閉校・閉園となりました。その後平成12年（2000年）に明石市高齢者大学校あかねが丘学園が移転してきました。平成26年（2014年）以降、あかねが丘学園が学習拠点を「アスピア明石」に移す中で高齢者の学びの拠点としての役割を終えることになりました。その後、宅地として売却され現在に至ります。この場所が、朝霧中学校の開校の場所であったことや、ここに松が丘南小学校・幼稚園があったことを知らない先生がほとんどなのではと思います。松が丘南小学校・幼稚園は四半世紀に満たない中での役割を終え、明石市内で唯一の閉校・閉園となりました。跡地は宅地だけでなく、地域の高齢者や障害者、子どもなど、生活上の困難を抱える状態にある市民に対しての支援の窓口となる「あさぎり・おおくら総合支援センター」が設置され、地域支援の拠点となっています。こうしてみると、朝霧中→松が丘南小・幼→あかねが丘学園→あさぎり・おおくら総合支援センターへの移り変わりは社会の変化とリンクしており、今後の学校の役割を考える視点を与えてくれているように思います。

現在、県内でも全国的にも人口減に伴う統廃合が進んでおり、その中で新しい時代の学びに対応できる学校施設としてだけでなく、地域コミュニティの施設としての機能も盛り込む議論がされたり、実際にデザインが進んだりしています。ここで、学校の中にいろいろな施設が盛り込ま

